

【第125号】

昭和43年2月15日発行

非 売 品

発行所 国見町公民館

発行人 佐藤 善次郎

編集人 鈴木 美一

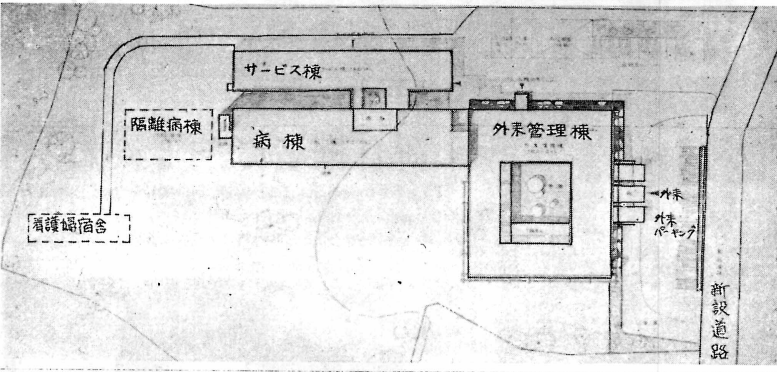
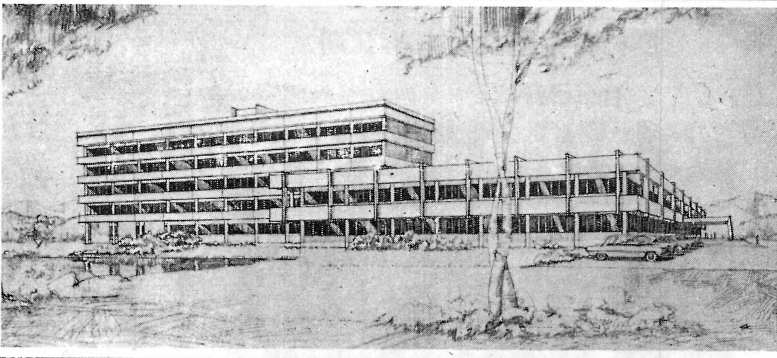
印刷所 国見印刷所

県北一のモデル病院

明年六月までに完成

40000万円

数年前から調査研究を続けて来た公立藤田総合病院の移転新築が決まり、年の瀬もおしまった二月二十六日地鎮祭を行い、ここ塚野目三本木の建設現場には、新年早々からブルドーザーやパワーシャベルの音が寒空に響りひびいている。国民年金特別融資三億五千万円及び国庫補助金の決定により、堂々たる新病院が、四号国道より具体化し、昭和四十二年より三か年の継続事業として約四億円の予算をもって、新病院の概要は次のとおりから見て、他の病院と比較して遜色のないモデル病院となるものと思われる。



この度の町長選挙に際し各層各団体の有志の推挙により三たび町政担当の決意を固め立候補いたしましたところ無競争にて一月二十三日当選者と決定になり二月七日国見町長に就任いたしました。



ごあいさつ

選挙が無競争なるが故に町政を担当することにその責任の重大なることを一層痛感する次第であります。私の信条といたしましては「人の和と協力による自治

料室・エレベーターホール・各種検査室等の中央診療部となつてい

昭和三十二年二月七日 国見町長 赤井知直 啓

体の民主的運営」にありま

以上は新病院の概要である

●森江野地区 十五名

●町民球球大会

病棟の主なものは二階建の外來診療管理棟、五階建の病棟と一階建のサービス棟の三部から成り、その外に伝染病棟、看護婦宿舎その他の附属建物も設けられる。

一、外來診療管理棟
鉄筋コンクリート二階建
延面積二、六〇〇㎡

●大木戸地区 十二名

●大木戸地区 九名

●大木戸地区 九名

●大木戸地区 九名

あそびません こわい くるまの とおるみち

注意一秒 けが一生

農業共済組合総代きまる

国見町農業共済組合では去る十一月二十四日選挙の結果次の六十五名が当選し、十二月二日総代に就任した。

- 任期三か年
- 小坂地区 十三名
- 後藤清四郎 高原 庄一
- 佐藤 忠雄 安藤 正重
- 野村 元司 佐藤 栄
- 目黒久太郎 紺野 忠藏
- 遠藤 喜市 後藤 源六

新有権者は登録の申出書を

選挙人名簿の登録はきたる三月三十日に行なわれましがこれは三月一日までに選挙人名簿登録の申出書を町の選挙管理委員会に出した方が登録されることになっております。

選挙人名簿にまだ登録されない方で選挙資格の出来た方は早速手続きをしてください。具体的には昭和二十二年九

(税務だより)

所得税の確定申告について

ことしは住民税、個人事業税などといつしに、所得税確定申告と納税が二月十六日から始まり、申告納税期限は三月十五日までとなっております。所得税の確定申告は、個人が昨年一年間の所得や税金を自分で計算して税務署に申告し納税するもので、事業を営む人をはじめ、サラリーマンでも給与以外に一定の所得があれば確定申告を清算しなければなりません。

●折国見合同剣道大会

●折国見合同剣道大会

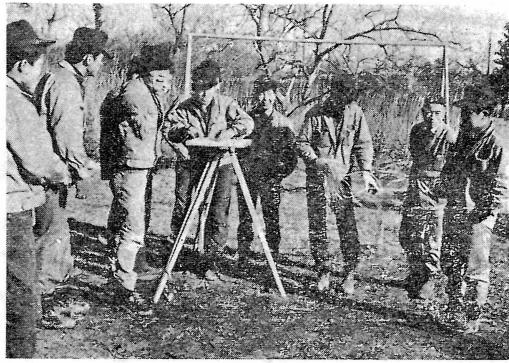
青年教育三題

老人は過去に生き、少年は未来に生きる、然らば青年とはいへば、それは極めて近き将来において社会の担い手となるべきもの、否現在すでに成人を助け第一線で活躍中であるといわねばならぬ。

町においては、これら青年のよりよき発展を期待し、いろいろの教養施策を講じている。以下は最近の例を三つ、

農村青年建設班 (第五期) 合宿研修終る

(写真は測量実習)



農村後継者養成の一枚看板として年々設けられてきた青年建設班は、ことしも一月九日から合宿研修に入り、青年研修所を根拠として猛烈な訓練を行ない、二月十日をもってめでたく終了した。石田補導員を中心として、研修所を必要なら、農業経営者として必要な知識技能をはじめ、りつぱな社会人となるための一般教養も身につけるため、講話をきいたり、実習をしたり、話し合いをしたりする。ラジオ朝は六時半に起き、ラジオ体操、国旗掲揚の後、ヨイサヨイサのかけこぎ勇ましく町内を駆け足する。測量、土木工事、剪定、ホイルトラクター運転などの実習には特に熱が入り、婦人会と婦人学級のお母さん方から二回にわたり慰問を受けたことは特別うれしかったといっている。二月十二日から三泊四日の予定で伊豆、大島方面の修学旅行に出かけることはなんともいっても最大の楽しみである。

あなたは今安全運転を
していますか

さあ青だ
いや

もう一度右左

新有権者にすじがねを

1月18日から3日間国立磐梯青年の家を会場として新有権者の政治講座を行なった。わが町から6名の新成人が参加し大なる感銘を受けて来たので今後の活躍が期待される。以下その感想文である。



この自覚と感激を忘れずに

小島 エイチ

一月十五日成人式のさうと今日とただ一日の違ひだけ、私たの胸に大人の意識、新しい社会の担い手としてのスタートを切ったすばらしい日でした。この方のごあいさつで成人式そのものだとして、私たちの社会への出発のめ、私たちが祝ひたいの……みんなとともうれしかった。暖かい思いやりと私たちに先達の皆様と、はにかみながらも理想とその実行力とを保持した私たちが交わった本当に記念すべき日でした。大人の仲間入りしたということな気分、消えない十八日から三日間の、私は選ばれて聲がきこえるとき、新有権者を感じて、政治講座に参加させてくださいました。

成人式を済ませて大人になった嬉しさ、しかし責任と義務とかがはんと自分にのつていって、何か物足りない感じがして、何となく不安な感じがして、政治講座に参加させてくれたこと、政治講座に参加させてくれたこと、感謝しています。

この一票を大切に

後藤 栄子

成人式を済ませて大人になった嬉しさ、しかし責任と義務とかがはんと自分にのつていって、何か物足りない感じがして、何となく不安な感じがして、政治講座に参加させてくれたこと、政治講座に参加させてくれたこと、感謝しています。

票一票を大切に、とよく義理人情にかきまされる一票を、しっかりと有権者の胸に抱いて有為な政治家へのかけ橋にする。

県の企画開発部長さんからの地域の講話を聞きまわしたわたくしの住む福島県にもたくさんのお力、そして一票の力で、この国をわたくし一人一人が、よく守らなければ、社会へのお力、と声を大にして言いたいです。

見聞を広め話し合うことの楽しさ

古山 賢一

成人式に参加してその感激のまだ覚めぬ一月十八日から三日間、国立磐梯青年の家で行なわれた「新有権者政治講座」に参加して、僕は見聞するということ、話し合うということのすばらしさを、さあさあとのからだ味わったのである。正直いって僕は、成人式だけではまだほんとは大人にならなという実感、が湧かなかつた。まして、責任とか義務等毛頭考えていなかった。しかしこの講座席に出席して、いろいろの講師の話を聞き、多くの仲間と話し合ったのは、多分、この講座を通して第一に感じたことは「自覚」ということである。選挙民も候補者も政治の主体者であるという自覚の上に立つて行動する。これは、多分、この講座を通して第一に感じたことである。選挙民も候補者も政治の主体者であるという自覚の上に立つて行動する。これは、多分、この講座を通して第一に感じたことである。

ことそれ自体がとも良い経験であり、思い出だ、と思えます。規律ある生活と、その生活の中で同じ世代の仲間たちと語り合う青年の家での成人にふさわしい催し、三十分ぶりといわれる大雪、思い出、記念にはすばらしいいつまでもこの自覚と感激を忘れたくありません。

お悔み申し上げます		おめでとうございます	
死亡日	氏名	出生日	氏名
3	菊地 正男	12/26	吉田 深雪
9	渡辺フカコ	1	村上 真一
9	佐藤善石工門	2	赤坂 勝江
12	東海林ミヨシ	4	斎藤 長一
17	松浦市三郎	9	富藤有とみ
20	相原 ミツ	9	赤井畑利恵
20	松浦市三郎	10	佐藤 誠一
24	松浦 三男	11	佐藤 誠一
24	斎藤 ムナ	14	本田 ゆきえ
25	佐藤 深太郎		
(一) 二月中に亡くなった方		(二) 二月中に出生届をされた方	
敬称略す)		敬称略す)	
年令	住所	親の名	続柄
六三	石母田下原五五	豊美の長女	山崎館四三
七六	光明寺土井一一	義一の長男	上川前二六
七八	山下 下鴨町一五	兵作の長女	内谷西脇四三
六八	藤田 堤下一二	金治の長男	貝田町裏八
七二	大木戸 赤穂二〇	正一の長女	藤田北七二
七三	小坂 カニ坂二七	武夫の三女	太子堂四一
七三	藤田 町尻二六一	山崎太三子	
六一	徳江 長館三一	多賀夫の長女	藤田昌町一九の口
八一	貝田 百枚大沢一五	康夫の長男	藤田昌町一九の口
		重正の二女	鳥取高瀬前道下六



伊達管内青年リーダー研修会終る

昨年7月から始めたこの会も去る1月18日から4泊5日青年の家宿泊研修をもって終りを告げた。尚2月21日に保原町公民館で県社会教育課長の臨席を得て終講式を行うことになっている。

- 婦人は学ぶ**
- 婦人講座 (中央学級)
 - 二月七日 物価と消費 労働福祉会館佐藤輝夫氏
 - 二月十四日 テレビ学習 NHK福島放送局 山田勉・鈴木洋子氏
 - 三月七日 国際情勢と日本 民友新聞社高橋良一郎氏
 - 三月十三日 成人病と健康 管理 保原保健所長 久保井 保氏
 - 会員研修会
 - 時：二月十九日
 - 所：飯坂町婦人会館にて 会費：四〇〇円
 - 宿泊研修会
 - 時：二月二十七・八日
 - 所：国立磐梯青年の家 会費：一〇〇〇円
 - 赤十字家庭看護講習会 要項未定